



# 5がつ附幼だより

令和6年4月30日

子どもの成長には“安心基地”が必要

附属旭川幼稚園園長 佐藤 公文

サクラ、北こぶしなど、春の花が咲く、気持ちの良い季節になりました。新学期が始まり、ひと月が過ぎました。園児の皆さん、保護者の皆さんは新年度の幼稚園生活には慣れましたか？

25日(木)は4月の誕生会でした。お楽しみの出し物は人形劇です。暗幕を使って舞台を作り、その陰に隠れて人形操作をしました。4歳・5歳の園児は人形劇のお話に興味をもって、楽しく見ることができました。3歳の園児の約半数が舞台裏が気になってのぞきにきました。人形劇のストーリーよりも、人形をだれがやっているのかとか、舞台の裏はどうなっているのかが気になるようです。人形や舞台がどうなっているのかが気になると、じっとしてられない、・・・興味・関心が勝っているといっているいいでしょう。3歳らしい行動をしているといえます。周りにとっては少し迷惑な行動ですが、集団生活が始まったばかりの3歳児はまだ周りのことを考えることはできません。これから集団の中で様々な経験を積み重ねながら、集団の中での行動の仕方がわかってくると思います。それまでに、もう少し時間がかかります。私たち教師としては“待つ”とか“気づかせる”ということが3歳児への指導になります。

逆に4歳、5歳の園児は一人ものぞきにきていませんでした。入園後の園児の成長を感じます。

園児にとっては、幼稚園の様々な経験の中で子供らしく成長することが一番大事なことです。そのために、私たちはできるだけ年齢に合って、ホッとできる、遊びたくなる保育室や遊戯室、園庭を用意することが大事なことを考えています。また、毎日の生活も同じような流れで生活し、遊ぶことで、一日の生活に見通しを持ち、安心できるということが大事と考えています。幼稚園の中で園児はうれしいことも、嫌なことも経験するでしょう。しかし、自分を理解してくれる友達や先生がいることで、小さなつまづきや困ったことを乗り越えられると考えています。気持ちが自分の力で乗り越える経験をたくさんさせたいと考えています。

ぜひ、附属旭川幼稚園の生活や遊びをみんなで楽しみましょう。何か気になること、誰かに相談したいことがあればいつでも幼稚園へ相談してください。保護者の皆様にとっても、園児の皆さんにとってもかけがえのない一年になるように、私たちも努力します。

## 「こどもの日」はこんなひです ～絵本「こいのぼり ぐんぐん こどもの日！」

こどもの日はどんな日？の説明とお話と一緒にあった絵本です。「こどもの日の意味って」「こどもの日に何を食べる？」「こどもの日の飾り」「こどもの日とショウブ・ヨモギの役目」など、こどもの日のあれこれが描かれています。お子さんに読むときには、絵本の部分のみ読んでください。説明の部分は大人向けです。親として知っているといいですね。

